

いしのまきし
石巻市



■石巻市暮らしのデータ

- 人口:135,806人
 - 世帯数:62,161世帯
 - 保育施設等の数:50所
 - 小学校の数:32校
 - 中学校の数:17校
 - 病院の数:8院
 - 一般診療所の数:161所
- 令和5年4月1日時点



移住に関するページ



ホームページ

お問い合わせ

●石巻市復興企画部SDGs移住定住推進課推進係

☎0225-95-1111

〒986-8501

宮城県石巻市穀町14-1

海と緑が豊かな
市民が明るく元気なまち

石巻市は、宮城県の北東部に位置し太平洋に面した、県下第2の都市です。海の幸や山の幸の宝庫で、夏は涼しく冬は雪が少ない暮らしやすい土地です。JR仙石線、仙石東北ライン、石巻線、気仙沼線や三陸自動車道が通っているので交通のアクセスも便利で、東日本大震災以降、全国からの支援者が訪れ、移住する方も多く住みやすいまちです。



〈三陸復興国立公園〉2015年3月31日に三陸復興国立公園に指定されました。



〈石巻川開き祭り〉毎年7月下旬～8月上旬に行われる、100年以上続く由緒ある祭り。

▶動画もチェック!



🚗 生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車:約60分(JR仙台駅～石巻駅(仙石東北ライン))
- ・バス:約75分(仙台駅前～石巻駅前(高速バス))
- ・車:約60分(仙台南IC(東北自動車道)～石巻河南IC(三陸自動車道)～国道108号線)

地域内の移動手段

- ・電車:仙石線、仙石東北ライン、石巻線、気仙沼線が通っており、市内には13の駅がある
- ・バス:路線バスに加え、住民バス、集合タクシー等(10地区)を運行
- ・車:石巻市役所から三陸自動車道の石巻河南ICまで車で約10分

＼こんな人におすすめ!／

海が好きな方

出産・子育てを
考えている方

マンガが好きな方

🏠 住まい

空き家情報

- 空き家バンクを設置し、空き家等の情報をホームページで紹介
- SDGs移住定住推進課 ☎0225-95-1111(代表)

住宅取得支援

- 移住に伴い、住宅を取得または居住する賃貸住宅を改修する場合に補助
※補助額:取得の場合最大150万円、改修の場合最大50万円
- SDGs移住定住推進課 ☎0225-95-1111(代表)

👨‍👩‍👧 子育て

医療費助成

- 0歳から18歳到達年度末日まで入院・通院に係る医療費を助成
- 保険年金課 ☎0225-95-1111(代表)

生活支援

- 仕事や病気などの理由により、昼間保護者が不在になる家庭の小学校1年生から6年生までの児童が、放課後に過ごす生活の場として、小学校の余裕教室や校舎外クラブ専用室等において放課後児童クラブを開設
- 子育て支援課 ☎0225-95-1111(代表)

相談・交流支援

- 父親の育児参加を推進するため、「石巻市父子手帖」の配布(母子健康手帳交付時及び3歳までの子どもがいる市民の方で

希望する方や交流事業を実施)

- 健康推進課・子育て支援課(交流事業) ☎0225-95-1111(代表)

- 地域子育て支援センターを各地区12ヶ所に設置。遊びの広場や子育て相談に応じています
- 子育て世代包括支援センターでは、妊娠前から子育て期にかけてのマイプラン作成をお手伝いし、不安なく妊娠、出産、育児が出来るようにしています
- 子どもの声を反映し、運営を行う子どもセンター「らいつ」(乳幼児から18歳までが利用できる児童館)を設置
- 子育て支援課 ☎0225-95-1111(代表)

育児ヘルパー事業

- 産前産後における家事育児の負担軽減を図るため、育児ヘルパーを派遣し、育児や家事を手伝う
※期間:母子健康手帳交付後から産後6か月の前日まで
※回数:原則20回以内、1日2回まで
※時間:1回2時間まで
※時間帯:平日午前9時から午後5時まで
利用料金:250円/時間
- 子育て支援課 ☎0225-95-1111(代表)

ファミリーサポート事業

- 「お子さんを預かってほしい方」&「お子さんを預かることができる方」が、お互いに信頼関係を築きながら子どもを預けたり、預けたりする、地域で主体的に行う子育て援助
※利用対象:生後2か月～小学6年生まで
※利用料金:600～700円/時間
- ファミリーサポートセンター ☎0225-23-7407

仕事

就職支援

- 医療・介護・福祉の資格(内容については要問い合わせ)を有し、市内に居住及び正規就労した方の借り入れた奨学金の返還金額の一部を最長6年間助成(年間上限10万円)
- 保健福祉総務課 ☎0225-95-1111(代表)

起業支援

- 本市創業支援事業計画に位置付けた特定創業支援事業の支援を受け、市の発行する証明書の交付を受けた創業(第二創業を含む)を行う事業者の方々に、対象経費について100万円を上限に補助
- 産業推進課 ☎0225-95-1111(代表)

就農支援

- 市内で就農する認定新規就農者・認定農業者(経営開始後5年以内)の農地の取得または賃借に要する経費(10a当たり5千円)及び農地の耕作に要する小型管理機等の導入に要する経費の一部を助成(上限25万円)
- 農林課 ☎0225-95-1111(代表)

就漁支援

- 空き家を活用したシェアハウスを拠点に漁業体験型研修を実施しているほか、就業者の資格取得経費や独立のための漁具購入費等の経費の一部を補助
- 水産課 ☎0225-95-1111(代表)

相談・体験

移住相談窓口

- 移住に関する相談を受付しているほか、まちの魅力や地域の方々と交流できる企画ツアーを実施
- SDGs移住定住推進課 ☎0225-95-1111(代表)

お試し移住

- 2泊3日から7泊8日の間、本市に実際に住んでもらい、住み心地や魅力を体感してもらう(滞在中、移住コンシェルジュによるガイドツアーを実施)
- 中心部と半島部に趣の異なる2つの施設を用意している
- SDGs移住定住推進課 ☎0225-95-1111(代表)

その他

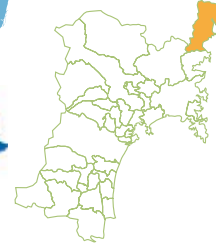
結婚支援

- 結婚に伴う経済的負担を軽減するため、婚姻時における年齢が夫婦とも39歳以下の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(住宅の取得費用、新居の家賃、引越費用等)を支援
- 補助上限額:1世帯当たり30万円、ただし、夫婦共に29歳以下の場合は60万円
- 地域振興課 ☎0225-95-1111(代表)

三陸エリア

気仙沼市

お問合わせ
 ●気仙沼市震災復興・企画部震災復興・企画課
 ☎0226-22-3408
 〒988-8501
 宮城県気仙沼市八日町1丁目1番1号



移住に関するページ ホームページ

■気仙沼市暮らしのデータ

- 人口:58,370人
 - 世帯数:26,149世帯
 - 保育施設等の数:16所
 - 小学校の数:13校
 - 中学校の数:10校
 - 病院の数:4院
 - 一般診療所の数:32所
- 令和5年4月1日時点

海と生きる Stay with the ocean

気仙沼市は宮城県北東部の太平洋岸に位置し、四季を通じて静穏な気仙沼港は、各地へ赴く漁船の一大基地となっており、魚市場には三陸沖はもとより、世界の海で漁獲された魚介類が並びます。

気仙沼の代名詞ともいえるフカヒレや水揚げ日本一を誇る生鮮カツオなどの海産物のほか、地元特産の農産物やB級グルメとして人気の気仙沼ホルモンなどがあり、気仙沼市は美食の街としての一面も持っています。



〈豊かな海の幸〉世界の海からの贈り物



〈深紅に染まる徳仙文山〉国内最大級の山ツツジの群生地

▶動画もチェック!



生活交通情報

仙台市との距離感

- バス:約160分(JR仙台駅~南気仙沼駅(高速バス))
- 車:約120分(仙台台北IC(仙台東部道路)~気仙沼港IC(三陸自動車道)~県道5号)

地域内の移動手段

- 鉄道:バス高速輸送システム(BRT)として、大船渡線・気仙沼線が運航
- バス:路線バス・乗合タクシーを運航
- 車:三陸自動車道の気仙沼港ICまで車で約2分

こんな人におすすめ!

海も山も川も。
ゆったりと暮らしたい方

まちのためにスキルを活かしたい方

人と人とのつながりぬくもりを大切にしたい方

空き家情報

- 空き家バンクの設置《気仙沼市移住・定住支援センターMINATO》



■震災復興企画課 ☎0226-22-3408

住宅取得支援

- 空き家バンク登録物件に関する改修費用等の一部を助成(適用要件あり)

■震災復興企画課 ☎0226-22-3408



医療費助成

- 令和3年10月より、出生から18歳に達した最初の3月末までのお子さんの健康保険適用の医療費の一部負担金を、保護者の所得に関係なく全額助成
※令和3年9月までは、中学3年生まで、保護者の所得制限あり

■保険年金課 ☎0226-22-3419

- 父(母)がいない児童を養育している母(父)とその児童、または両親のいない児童に対し、児童が18歳に達した最初の3月まで医療費の一部負担金を助成(所得制限あり)

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429

出産支援

- 母子健康手帳・父子健康手帳の交付
- 妊婦健康診査(14回分)の健診費用助成

(多胎妊婦については6回分を追加助成)

- 特定不妊治療費に要する費用の一部を助成(1回につき上限15万円まで)

■健康増進課 ☎0226-21-1212

- パパママ教室等妊娠期～出産・子育てに関する事業

- 誕生祝金

気仙沼市に誕生した新生児の保護者に対し、新生児1人につき3万円の気仙沼商品券を贈呈

- 産後サポート事業(産婦健康診査・1か月児健康診査・新生児聴覚検査・産後ケア)

- ファミリー・サポート・センター産後ママ応援事業

ファミサポの活動により、出産後の母親への育児支援(家事支援を除く)や健診等の付添いを行い、子どもが1歳未満の利用料の全額を助成(月上限額2万円、ファミサポの会員登録が必要)

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429

子育て支援

- 子育て世代包括支援センター：妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的相談の実施

- 子育てパパ・ママ応援講座：妊娠期・出産・子育て期のパパ・ママが安心して楽しく子育てができるよう、次の事業を実施。子育て支援セミナー／産後ママ交流事業／父親の育児参加促進事業／おでかけ児童館

- ファミリー・サポートセンター：子育ての相互援助活動を支援。また、出産後1年未満の会員の利用料の全額を助成(月上限額2万円、気仙沼児童センター内)

- 子育てアプリ：市の子育て支援情報を電子書籍で閲覧できるほか、子育てイベントや情報がプッシュ回線でご届く

- 子育て支援センター：気仙沼地区(気仙沼児童センター内)と新月地区(子育て支援「わくわくけせんぬま内」)と本吉地区(津谷保育所内)に設置乳幼児親子の遊び場や交流、育児相談などを実施

- 児童センター・児童館：気仙沼児童センターのほか、市内に4か所(鹿折、赤岩、大島、鮎立)児童館を設置。乳幼児親子から高校生までの遊びや居場所、世代間交流を実施

- 満1歳のお誕生日記念にお子さんと保護者に対して、1冊絵本をプレゼントするとともに子育て情報の提供を行う

- お子さん連れでも安心して健康診査を受診できるよう、市の総合健診等の会場で託児を行う

- 子育て短期支援事業：保護者が病気や仕事の都合等により、お子さんの養育が困難な場合に、一時的にお預かりする事業

- パパママ教室、新生児訪問、離乳食、幼児食に関する教室

■健康増進課 ☎0226-21-1212

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429

- 子育てホットサロン

子育て中の親子を対象として、子育て講話や親子で楽しめる人形劇や体操など家庭に持ち帰りできる講演・講話を開催するとともに、子育ての不安や悩みを気軽に話せる場として、情報交換や仲間づくりの支援。年10回の開催を予定。対象は子育て中の親子。参加無料

■生涯学習課 ☎0226-22-3442

就学・教育支援

- 一定の要件を満たす高等学校、高等専門学校、大学及び専修学校の生徒、学生に対して、奨学資金を貸付

- 小中学校の就学に必要な経費の負担が

困難と認められる家庭に対する助成制度あり

■学校教育課 ☎0226-22-3441

- 第3子が小学校入学時に、児童一人につき3万円を支給

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429



就職支援

- U・I・Jターンや新規就職、他業種からの介護職への転職、一年以上離職していた介護従事者が就職する場合に助成金を交付するほか、U・I・Jターンにより市内に住所を移す場合の経費の一部を助成(適用要件あり)

■高齢介護課 ☎0226-22-6600

- 市内の保育施設等へ就職し、1年以上の雇用契約となっている、保育士・幼稚園教諭等の有資格者に対し、助成金を支給(10万円/人)

- 就職助成金(上記、助成金)の対象者及びその世帯員で、就職日前後1月以内に移住した方に対し助成金を支給(本人を含む世帯員1人あたり10万円)

- 奨学金を利用して保育士・幼稚園教諭資格を取得した方が、市内の保育施設等に就職した方に対し、奨学金の返済額の一部を補助(奨学金返済額の1/2(上限10万円)を補助)。ただし3年以上就労すること

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429

- 雇用保険受給者または離職者で求職活動を行っている方に対し、市が指定する技能講習の受講料の1/2を助成

■産業戦略課 ☎0226-22-3432

起業支援

- 地域資源の活用、地域課題の解決を伴う新規性のある事業を新たに展開・起業する方に対し、事業に係る経費の1/2を補助(上限1,000万円)

■産業戦略課 ☎0226-22-3432

就農支援

- 新規就農者に対して農業次世代人材投資資金を交付

1人当たり年間最大1,500千円
期間は最長5年 各種要件あり

■農林課 ☎0226-22-3439

相談・体験

体験ツアー・交流会

- 都市部からの移住・定住に向けた各種交流イベントも開催している

■気仙沼市移住・定住支援センターMINATO
☎0226-25-9119



お試し住宅・お試し移住

- お試し移住事業・災害公営住宅の空き室を活用した、最大60日までのお試し移住を実施(適用要件あり)。利用者負担額(光熱費を含む)

- ①30日以内 15,000円
- ②31日以上45日以内 22,000円
- ③46日以上60日以内 30,000円



- 民間宿泊施設を利用した、最大14日までのお試し移住を実施(適用要件あり)。1日当たり6,500円を上限とする実費分(宿泊費は1泊当たり、レンタカー借上料は1日当たり)を補助金として交付

■気仙沼市移住・定住支援センターMINATO
☎0226-25-9119



その他

結婚支援

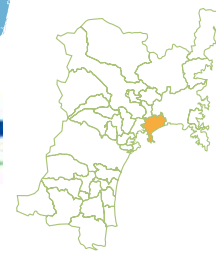
- 新婚世帯の応援として、結婚生活に関わる家賃負担や住宅改修費用等の一部を助成(適用要件あり)。改修費用等の一部を助成(適用要件あり)

- 婚活イベントの運営と、参加者の交通費に補助

■震災復興企画課 ☎0226-22-3408

三陸エリア

ひがしまつしまし
東松島市



お問い合わせ

●東松島市復興政策部復興政策課地方創生・基地対策係
☎0225-82-1111
〒981-0503
宮城県東松島市矢本字上河戸36番地1



移住に関するページ



ホームページ

東松島市暮らしのデータ

- 人口: 38,683人
 - 世帯数: 16,598世帯
 - 保育施設等の数: 10所
 - 小学校の数: 8校
 - 中学校の数: 3校
 - 病院の数: 2院
 - 一般診療所の数: 34所
- 令和5年4月1日時点

人育み 人輝く 東松島 ～心ひとつに ともに未来へ～

東松島市は仙台市の北東に位置し、東は石巻市、西は松島町、南は太平洋に面しています。日本三景「松島」の東端に奥松島を望み、海と山と豊かな自然に囲まれたまちです。また、航空自衛隊松島基地所属の「ブルーインパルス」が空を彩ります。気候は、夏涼しく、冬は雪が少ないので暮らしやすい土地です。

交通アクセスは市の中央を鉄道や三陸自動車道が横断しており、仙台までの通勤・通学も比較的容易です。子育てや教育、防災にも力を入れ、様々な支援を行っています。

▶動画もチェック!



〈大森からの風景〉日本三景「松島」の東端にあるもう一つの「松島」～奥松島～



〈ブルーインパルス〉絵画のような美しさで観る人々を魅了するブルーインパルス

生活交通情報

仙台市との距離感

- 電車: 約50分(JR仙台駅～JR矢本駅(仙石東北ライン))、約35分(JR仙台駅～JR野蒜駅(仙石東北ライン))
- 車: 約35分(仙台東IC(仙台東部道路)～矢本IC(三陸自動車道))

地域内の移動手段

- 電車: JR仙石線が通っており、市内には8つの駅があります
- バス: 市内全域を運行範囲とするデマンド型乗合タクシー(らくらく号)を運行
- 車: 三陸自動車道はインターチェンジが3か所あります

こんな人におすすめ!

海や山が好きな方

交通の便が良いまち
(仙台市や石巻市に通勤・通学)に
住みたい方

穏やかな気候を
好む方

空き家情報

- 市内に存在する空き家を有効活用し、他市町村にお住まいの方が本市への定住及び交流による地域の活性化を図るため、「空き家バンク」を運営しています。物件情報や利用申込方法をホームページで紹介していますので、ご覧ください
※物件見学や交渉には事前の利用登録が必要です



■復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1234)

住宅取得支援

- 定住化促進事業費補助金：市外から移住し、住宅を取得する方に対し住宅取得の形態(新築・中古での取得、市内・市外事業者の利用等)により住宅取得費用を最大100万円補助
※当補助等を利用する方は、条件により【フラット35】地域連携化型住宅ローンの利用可能
 - 空き家バンク補助金：空き家バンクを利用し、売買又は賃貸に移住した方又は空き家所有者に対し改修費として最大50万円を補助。売買の場合、定住化促進事業費補助金との併用が可能
- 復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1234)

医療費助成

- 子ども医療費助成：18歳到達年度末までの全ての児童の医療費を全額助成
 - 母子父子家庭医療費助成：母子(父子)家庭の母(父)及びその子ども(18歳到達年度末まで)の医療費を一部助成(要件あり)
- 子育て支援課 ☎0225-82-1111(内線1420)

就学・教育支援

- 海と森の学校：子どもたちの心のケア・ふるさとを大事にする心を育むため、豊かな自然環境を活用した学校づくりを推進しています。宮野森小学校に隣接する「復興の森」には、散策路・サウンドシェルター・展望デッキなどの活動拠点があり、自然の中で生態系を学べる環境があります
- 教育総務課 ☎0225-82-1111(内線1261)

子育て支援

- 多子世帯の負担軽減：兄弟姉妹で保育園に入所する場合、保育料を軽減(第2子×1/2、第3子以降無料、幼稚園・保育園の併用可能)
- 子育て支援課 ☎0225-82-1111(内線1182)
- ファミリーサポート事業：地域内で子育ての支援を受けたい方と支援できる方をマッチング(子どもの一時預かりや送迎など)
※利用対象：生後2か月～小学6年生までのお子さんがいる保護者の方
※利用料金：600～700円/時間
- ファミリーサポートセンター ☎0225-84-2676

- 子育て支援センター(あいあい(鳴瀬地区)、ほっとふる(矢本地区))：どなたでも自由に、無料で利用できる遊び場で、子育てについての情報提供や相談に対応。子ども達はのびのび遊び、親同士は子育ての悩みなどについて気軽に交流できます
- あいあい ☎0225-87-2338
■ほっとふる ☎0225-84-2676



就職支援

- 勤労者生活安定資金融資：市内に1年以上お住まいの方または市内同一中小企業に1年以上お勤めの方に対し、教育資金や生活資金等の融資あっせん
- 商工観光課 ☎0225-82-1111(内線2163)
- 奨学金返還支援：看護師等の資格を有し、県内医療機関等で正規雇用された方に対し、学生時の奨学金返還額の一部を最大5年間助成(年間上限最大20万円)
※市外在住の方にも助成制度あり
- 高齢障害支援課 ☎0225-82-1111(内線1186)

起業支援

- 中小企業育成融資：市内において事業資金を必要とする中小企業に資金の融資をあっせんと助成(上限2千万円)
- 創業支援ワンステップ窓口：創業支援のための窓口を設置。各関係機関と連携を図りながら、創業を希望される方の様々な相談へ丁寧に対応

- 創業支援補助金：市内で新たに創業・第二創業する方に対し、その経費の一部を補助(新規創業の場合：補助率2/3、上限250万円、第二創業の場合：補助率1/3、上限250万円)
- 商工観光課 ☎0225-82-1111(内線2163)

就農支援

- 新規就農者育成総合対策(経営開始資金)認定新規就農者として市から認定を受け、その他の条件を満たした方に、国が年間最大150万円を最長3年間交付
 - 東松島市新規就農支援事業補助金
新規就農者育成総合対策(経営開始資金)の交付が決定した方に、市の独自支援として年間最大30万円を最長3年間交付
- 農林水産課 ☎0225-82-1111(内線2140)

相談・体験

移住相談窓口

- 移住相談窓口：移住・定住に関する情報を集約した窓口を設置
若者、子育て世代、中高年世代、退職者など一人ひとりの希望に応じた情報提供及び支援を行い、移住への第一歩を後押し
- 復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1264)

お試し住宅・お試し移住

●お試し移住：本市への移住に興味がある方を対象に、3日～7日の間で市内の「あおみな」か「つながる家」のどちらかの施設に宿泊滞在いただき、東松島のライフスタイルを体験してもらうもの

移住コーディネーターが体験等をコーディネートします(コーディネーター支援料として5,000円必要)

■復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1264)

その他

結婚支援

●婚活イベント：年2回程度、男女の出会いの場として婚活パーティー及び婚活プロフェッショナルからの事前セミナーを実施、マッチングシステムを運用し、登録した男女を個別に「マッチング」させ引き合わせる

■市民協働課 ☎0225-82-1111(内線3805)

●結婚新生活支援：新婚世帯に対し、住宅購入又は賃借住宅費用、引越費用を助成(上限30万円)

■子育て支援課 ☎0225-82-1111(内線1420)



三陸エリア

おながわちょう

女川町



■女川町暮らしのデータ

- 人口：5,928人
- 世帯数：3,014世帯
- 保育施設等の数：2所
- 小学校の数：1校
- 中学校の数：1校
- 一般診療所の数：1所

令和5年3月31日時点

お問い合わせ

●女川町企画課定住・土地利用係

☎0225-54-3131

〒986-2265

宮城県牡鹿郡女川町女川一丁目1番地1



移住に関するページ



ホームページ

あたらしいスタートが 世界一生まれる町へ。

始発駅の町、女川。この町からスタートしているのは、列車だけではありません。仕事も駅も商店街も、そして人も、マイナスから立ち上がり、あたらしいスタートを切っています。町も、人も、いつだってスタートできます。

豊かな海、山、川に囲まれたこの町には、あたらしいスタートに挑戦している人たちがいて、あなたのスタートを応援するあたたかい人たちがいます。女川は、すべての人のあらゆるスタートを応援する町です。



〈女川駅前レンガみちから見る初日の出〉女川から新しい一年をスタートしよう。



〈女川駅・女川温泉ゆぼっぼ〉駅舎と温泉の合築施設。

▶動画もチェック!



🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車：約90分(JR仙台駅～石巻駅(仙石線)～女川駅(石巻線))
※JR仙石東北ライン利用による仙台駅直通便も利用可能
- ・車：約75分(仙台東IC～石巻女川IC(三陸自動車道)～国道398号線)

地域内の
移動手段

- ・車：三陸自動車道石巻女川ICまで車で約30分
- ・定期航路：出島、江島行き(1日3便)
- ・町民バス：中心部は1日7～8便、離半島部は1日3便運行

＼こんな人におすすめ!／

海と山の近くで
暮らしたい方

新鮮な魚介類を
楽しみたい方

街づくりに
関わりたい方

住まい

空き家・空き地情報

- 町内における空き家等の有効活用と定住促進による地域の活性化を図るため、町のホームページに「空き家・空き地」の情報掲載



■企画課 ☎0225-54-3131

住宅取得支援

- 町内に新築・中古住宅(土地を含む)を取得したり、既存住宅の建替えを行う方に補助金を交付

■企画課 ☎0225-54-3131

リフォーム支援

- 木造住宅の耐震診断、改修工事を行う方への補助金の交付や危険なブロック塀等の除去費用を一部助成

■建設課 ☎0225-54-3131

子育て

医療費助成

- 0歳から18歳到達年度までの子どもの医療費を助成。ひとり親世帯の医療費を助成

■健康福祉課 ☎0225-54-3131

出産支援

- 特定不妊治療に要した費用の一部を助成
- 保健センター ☎0225-53-4990

子育て支援

- 同一世帯から2人以上の児童が入所している場合、2人目の児童の保育料は半額とする。第3子以降の児童の保育料は無料(要件あり)
- ひとり親世帯または在宅障害児(者)のいる世帯については、保育料を減額(要件あり)
- 健康福祉課 ☎0225-54-3131

就学・教育支援

- 経済的理由により、小・中学校へ就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学奨励についての国の援助に関する法律及び同法施行規則に基づき、学用品費や学校給食費の就学費用を援助
- 学習塾等費用助成事業：4歳から18歳までの間、学習塾や文化・スポーツ教室などに通う際の費用の一部を補助
- 基礎学力充実支援事業：本町の小・中学生が漢字検定、英語検定、数学(算数)検定を受検した際の受検料の一部または全部を補助
- 高等学校等通学費等補助金：高校生等が通学のために必要となる定期券等の費用の一部を補助
- 教育局 ☎0225-54-3133

仕事

就職支援

- 資格取得支援：町が認める必要な資格を取得した方に対し女川町資格取得支援事業補助金を交付。資格取得の例)大型自動車運転免許、介護職員初任者研修など
- 企画課 ☎0225-54-3131
- 無料職業紹介所：町内に居住する求職者を対象に無料で職業紹介を行う紹介所を開設
- 産業振興課 ☎0225-54-3131

起業支援

- 「女川フューチャーセンターCamass(カマス)」は、コワーキングスペース、創業支援、集いの場としての3つの役割を担う「仕事」「創業」「出会い」の場。有料コワーキングスペースには様々なデスクタイプと2つの会議室が用意されています。詳細はWEBページをご確認ください
- 「創業本気プログラム」：本気で創業したい人向けの創業支援プログラム。地方で創業する全ての人を本気で応援します。(2日間×3回の計6日間)

■NPO法人アスヘノキボウ ☎0225-98-7175



就漁支援

- 町が認める必要な資格を取得した者に対し女川町資格取得支援事業補助金を交付例)小型船舶免許、玉掛け技能講習など
- 企画課 ☎0225-54-3131

相談・体験

お試し住宅・お試し移住

- 5～30日間、実際に女川に住んでみて、この町の人や雰囲気に触れながら「暮らす」、「働く」そして「町の未来に関わる」という女川町ならではのライフスタイルを体験

■NPO法人アスヘノキボウ ☎0225-98-7175



みなみさんりくちょう

南三陸町



■南三陸町暮らしのデータ

- 人口: 11,888人
 - 世帯数: 4,439世帯
 - 保育施設等の数: 5所
 - 小学校の数: 5校
 - 中学校の数: 2校
 - 病院の数: 1院
 - 一般診療所の数: 3所
- 令和5年4月1日時点



ホームページ

お問い合わせ

●南三陸町企画課企画情報係

☎0226-46-1371

〒986-0725

宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田101番地

森 里 海 ひと いのちめぐるまち 南三陸

南三陸町は、宮城県北東部に位置しリアス式海岸を有する自然豊かな海沿いのまちです。海のイメージが強いですが、町の面積の77%が山林で、森と海に囲まれた里の暮らしでは自然との繋がりを強く感じられます。現在、一次産業では環境に配慮した資源循環型の新たな取り組みを進めており、その地域資源を活かした観光・体験交流事業などに多くの観光客が訪れています。南三陸町では新たな可能性を見つけ、チャレンジする方を応援します。



〈自然のキャンパス〉青い海に浮かぶ島、その海を包み込む緑豊かな山々



〈豊かな海の生態系〉ラムサール条約登録を目指す豊かな自然環境

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・バス: 約90分(宮城県庁～JR志津川駅(高速バス))
- ・車: 約80分(仙台東IC(仙台東部道路)～南三陸海岸IC(三陸自動車道))

地域内の移動手段

- ・バス: JRが運行するBRT(バス高速運送システム(前谷地～気仙沼間))に加え、町内を運行する南三陸乗合バス
- ・車: 町内に4か所ある三陸自動車道ICまではそれぞれ数分。日常生活では自家用車の必要性が高い

＼こんな人におすすめ!／

山も海も両方
楽しみたい方

自分の可能性を
見つけたい方

街づくりに
興味がある方

住まい

空き家情報

- 空き家バンクを開設し、町に登録している仲介業者が契約をサポート。最大70万円の空き家改修と不用品整理に使える補助金や仲介手数料など支援制度が充実



■企画課 ☎0226-46-1371

住宅取得支援

- 若者の住宅取得を応援するため、40歳未満の子育て世帯や新婚世帯が住宅を建築または購入(中古を除く)した場合に最大100万円を補助(町の造成団地も好評分譲中)

■企画課 ☎0226-46-1371

家賃補助

- 子育て世帯に月額2万円、その他世帯にも月額1万円を上限に最大24ヶ月分の家賃を助成

■企画課 ☎0226-46-1371

- 移住者向けに定住促進住宅を整備(家賃2万4千円～3万2千円)

■建設課 ☎0226-46-1377

子育て

医療費助成

- こども医療費の助成により、18歳に達してから最初の3月31日までの保険診療に係る医療費の窓口負担が保護者の所得に関わらず無料
- 母子・父子家庭医療費の助成により、18歳に達してから最初の3月31日までの間にある子を扶養するひとり親家庭等に対して、医療費の自己負担金額が一定額を超える場合に助成

■町民税務課 ☎0226-46-1372

出産支援

- 出産時に子育て応援券(商品券)を配布(第1子3万円、第2子5万円、第3子10万円)
- 特定不妊治療費助成(1回あたりの上限15万円)

■保健福祉課 ☎0226-46-1402

就学・教育支援

- 就学時に1万円分の子育て応援券(商品券)を配布
- 保健福祉課 ☎0226-46-1402
- 町内の公立学校(志津川高校)と連携し無料の学習支援センターを開設。講師が常駐し自律学習のサポートを受けられるほか、タブレットを活用したオンライン講座を受講可能

■企画課 ☎0226-46-1371

子育て支援

- 保育料無償化に加え、3歳未満児についても軽減措置を拡充している(第2子半額、第3子以降無料)
 - 町内3ヶ所に子育て支援センターを開設し、常時4名のスタッフが育児相談や親子クッキングなどイベントを開催。また、ママさんたちが企画する自主活動のサポートも実施
- 保健福祉課 ☎0226-46-1402

仕事

就職支援

- Uターン者雇用奨励金により、移住者本人に対し、移住者の正規雇用を促進するための雇用奨励金を交付
 - 南三陸町無料職業紹介所を開設し、専門の相談員による求人・求職に関する相談及び紹介(無料)
- 商工観光課 ☎0226-46-1385

起業支援

- 起業支援補助金制度により、地域の資源を活用して新たに事業を開始しようとする方を支援(開業準備経費及び施設設備費補助:上限200万円、運転経費及び雇用経費補助:上限100万円)
- 商工観光課 ☎0226-46-1385

就農支援

- 新規就農者に青年就農給付金を支給
- 農林水産課 ☎0226-46-1378

その他

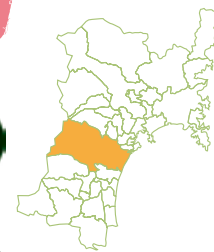
結婚支援

- 結婚相手紹介サービスを利用し、専任の婚活コンシェルジュとともに1年以内の成婚をサポート(入会金・活動サポート費を町が負担)
- 企画課 ☎0226-46-1371

仙台エリア

仙台市

お問い合わせ
●仙台市まちづくり政策局政策企画部政策企画課
☎022-214-1245
〒980-8671
宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7-1



ホームページ

■仙台市暮らしのデータ

- 人口:1,094,520人
 - 世帯数:540,158世帯
 - 保育施設等の数:421所
 - 小学校の数:125校
 - 中学校の数:74校
 - 病院の数:56院
 - 一般診療所の数:939所
- (人口、世帯数、保育施設等の数は令和5年4月1日時点)
(小学校、中学校の数は令和4年5月1日時点)
(病院、一般診療所の数とは令和2年10月1日時点)

豊かな自然と都市機能が調和した 住みやすいまち

仙台市は、1601年伊達政宗公によって築かれ、東北地方の玄関口、そして経済・文化の中心地として繁栄してきました。街中には緑があふれ、中心部を流れる広瀬川とともに都心にいながら自然を満喫することができる“杜の都”です。また、公共交通を中心とした利便性の高い交通体系のもと、郊外の良好な生活環境を維持しながら都心や拠点に高度な機能を集約した、誰もが快適に暮らし活動できるまちです。その上、四季を通じてさまざまなイベントが開催される楽しいまちです。

▶動画もチェック!



〈杜の都 仙台〉
豊かな自然と都市とが共存する住みやすいまち、仙台。

〈仙台のイベント〉
仙台七夕まつり、SENDAI光のパージェント等、春夏秋冬イベントが盛りだくさん。



生活交通情報

市内はJR東北本線をはじめJR各線と市営地下鉄南北線・東西線が仙台駅を中心に延びており、これら鉄道を補完するように路線バスが運行され、市内の移動は非常に便利になっています。

こんな人におすすめ!

色んなことに
チャレンジしたい方

自然と街中
どちらも楽しみたい方

スポーツやイベント
が好きな方